

県政特集 とちぎ子ども医療センター



八月二十日にオープンした「獨協医科大学とちぎ子ども医療センター」。従来の小児科を新棟に移設して、高度な医療機能やソフト面の体制を充実し、新しく「子ども医療センター」となりました。子どもの病気に幅広く対応しますが、特に白血病などの血液

子どものために 家族のために

八月二十日にオープンした「獨協医科大学とちぎ子ども医療センター」。従来の小児科を新棟に移設して、高度な医療機能やソフト面の体制を充実し、新しく「子ども医療センター」となりました。子どもの病気に幅広く対応しますが、特に白血病などの血液

二つの病院の 専門分野を生かして

県では、平成十四年三月に「栃木県小児医療体制整備構想」を策定しました。これは、子ども専門の病院や小児救急医療体制を整備して、子どもの健やかな成長を支援するとともに、安心して子どもを生育させることのできる環境づくりをすすめるためのものです。昨年二月には、獨協医科大学病院と自治医科大学附属病院に「とちぎ子ども医療センター」を整備する具体的な計画を発表しました。二つのセンターは、それぞれの専門分野を生かして、今まで県内で対応が難しかった病気を、今後の小児医療で必要とされる高度医療の機能を担っていきます。

疾患や、成長障害などの内分泌疾患などに高度な医療が提供されます。獨協医科大学とちぎ子ども医療センター長の有阪さんは「大学病院に併設する子ども専門の病院は、全国でも極めて少なく、大学病院と緊密な協力体制を築きながら、今まで蓄積されてきた技術や経験を生かしていきま

す。また、施設の整備だけでなく、心のケアなどソフト面でも充実させました。県民の皆さんに安心して来てもらえるように、信頼される病院として、地道に頑張っていきたい」と意欲を話します。

病床数は、六床増の七十七床。専門医を増やし、白血病などの治療に必要な無菌室や重症疾患を治療する病室を増設しました。待合室は、子どもが飽きずに楽しい雰囲気の中で待つことができるようになっています。院内には心のケアを行う臨床



明るいプレイルームのようす



分教室に通う鈴木真帆さん(小3)が「この広くてきれいな病院で、病気に負けないように頑張りたい」とあいさつ

心理士が常駐して、子どもとその家族を支えていきます。また、療養中の子どもの成長に必要な教育を行うため、栃木養護学校獨協医科大学分教室が設置されています。病院内の分教室として、子どもの体調や進度に合わせた、きめこまやかな教育を行います。病院は子どもにとって療養の場であると同時に、生活の場ともなっています。このため、病気を抱えた子どもが不安を感じることなく、快適に入院生活を送ることができるようになっています。看護師長の石川さんは「内装を選ぶときは、子どもや家族の視点に立った環境づくりに気を配りま

◇問合せ 県医事厚生課
TEL 028-623-158

「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」は平成十八年度に完成します。ここでは、先天性心疾患や発達障害・精神心理疾患等の分野を中心に診療機能を強化します。獨協医大と自治医大の二つの子ども専門の病院は協力して、質の高い医療を提供していきます。また、現在、休日や夜間でも対応できる小児救急医療体制づくりを、県全域ですすめているところ。とちぎ子ども医療センターでは、特に症状の重い方の診療をする三次救急医療機能を効果的に発揮できるような体制になっています。

今後県では、小児科医の確保や、拠点となる病院を整備して、小児医療の充実を努め、安心して子どもを生育させることのできる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

した。明るい色使いの病室やプレイルームになって、子どもたちも喜んでいきます」と話します。

小児医療体制の整備をすすめます

とちぎ 県民だより 9 2004 月号

編集・発行 栃木県広報課 平成16年9月15日発行

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ http://www.pref.tochigi.jp/

栃木県の人口 [8月1日現在]
2,013,789人(前月比-100人、前年同月比+3,135人)
◎男999,584人 ◎女1,014,205人 ◎世帯数705,773世帯
栃木県毎月人口推計速報

とちぎ子ども医療センターを整備しています



獨協医科大学とちぎ子ども医療センター

子どものための病院
自治医科大学とちぎ子ども医療センターも整備中です
18年度 オープン 予定

これまで県内では、手術が困難だった先天性心疾患と、最近増えてきている発達障害や精神・心理疾患などに、高度で専門的な医療機能を提供します

自治医科大学とちぎ子ども医療センター完成予想図

目次

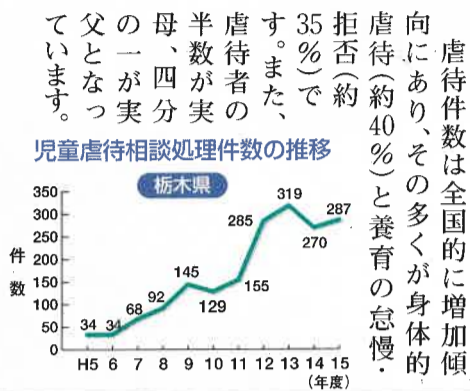
- 2面特集 児童虐待対策 あなたの周りで、子どもが助けを求めていますか?
- 3面(二)特集 ひろくが「悩まず気軽に難病相談を!」とちぎ難病相談支援センター
- ふるさと散歩 古代の文化にふれよう 風土記の丘資料館編
- 4面情報 栃木県からのお知らせ 文化情報催し講座 ほか 花歳事記(ツリフネソウ)

あなたの周りで、子どもが助けを求めていますませんか？

今年四月、児童虐待防止法が改正され、十月一日から施行されます。今までは、国民の通告義務を「虐待を発見した場合」としていましたが、これからは「虐待を受けたと思われる場合」も対象となり、虐待への対応が強化されました。虐待の未然防止・早期発見のため、県民の皆さんのご協力をお願いします。

子どもへの虐待は増加しています

「児童虐待」とは、親や養育者が子どもに対して行う行為で、子どもの健康を損ない、や心までも傷つけてしまう行為をいいます。虐待という行為が暴力的な行為を思い浮かべやすいのですが、放任や無視なども含まれます。また、親はしつけのつもりでも、子どもにとって有害であれば虐待です。



虐待を受けた子どもは体だけでなく心にも傷を

子どもにとって安心できるはずの家庭で、保護者から虐待を受けることは、子どもの心身に深い傷跡を残すことになり、それは、骨折や低体重といった身体的な影響だけでなく、知的発達や行動面での影響が及ぶことがあります。特に情緒面では、強いおびえ、うつ状態、無感動、強い攻撃性、極度の自己嫌悪などが表れ、子どもの健全な成長の妨げとなります。

虐待の通告や相談を受けた時は、児童相談所などの関係機関が調査をします。そして虐待を確認した時は、その家族にとって何が必要か、どうしたら親も子どもも幸せになれるかをみんなで考えます。「虐待＝親子分離」と思いがちですが、親子が一緒に暮らしながら、改善できる方法をとっていきます。

虐待をする人は援助を求めている人

虐待の対応は虐待というレッテルを貼ることではなく、支援の手をさしのべるきっかけ

下泉 秀夫さん
栃木県小児虐待防止ネットワーク事務局長



虐待はさまざまな要因が重なって

～虐待はどうして増えているのでしょうか～
国際医療福祉大学下泉教授にお聞きしました

虐待件数は、児童虐待防止法が施行された平成12年から急激に増えました。これは、今までおもてに出なかった虐待が表面化したものと言われてきましたが、その後も年々虐待件数が増加していることから、虐待の絶対数が増えていると考えられます。

少子化や核家族化などで社会環境が大きく変化しており、例えば親子一緒に食事をしたり、会話をしたりするといった、子育てに対する基本的な点が揺らいでいます。そして、我慢することができない、いわゆる育てにくい子どもの増加、親自身の経験不足からくる養育能力の低下などから、親子関係を上手につくることができずにいます。さらに身内の支援がない、地域から孤立している、経済的余裕がないなど、さまざまな要因が重なって虐待へとつながっています。

しかし、虐待は早めに周りが気づき、早めに支援することで、家族としてやり直しができます。今回の児童虐待防止法の改正・施行を機に、行政の関係機関だけでなく、多くの大人たちが周りの子どもたちにこまやかな目を向けて欲しいと思います。

虐待の種類

身体的虐待

- 殴る、蹴る
- 首を絞める
- 投げ落とす
- 熱湯をかける
- タバコの火を押しつける
- 風呂場でおぼれさせる
- 乳児を激しく揺さぶる
- 冬に戸外に閉め出す
- など

養育の怠慢・拒否 (ネグレクト)

- 食事を与えない
- 入浴させない
- 病気でも病院に連れていかない
- 子どもの意志に反し学校に行かせない
- 乳幼児だけおいて外出する
- など

心理的虐待

- 言葉による脅かし
- 無視、拒否的態度
- 自尊心を傷つける言動
- 他のきょうだいと著しく差別する
- 夫婦間の暴力を子どもに見せる
- など

性的虐待

- 子どもへの性交
- 性的暴行
- 性的行為の強要
- 性器や性交を見せる
- ポルノ写真の被写体にする
- など

こんなことがあったら虐待も疑われます
虐待を早期発見するための重要なサインは「不自然さ」です

- 不自然な外傷(打撲、やけどなど)がある
- 極端な栄養障害や、発達・発育の遅れがある
- 食事に対して異常な執着を示す
- 洋服がいつも不潔で、きょうだいとの衣服の差が激しい
- 親がいるとおどおどして不安そうになるなど、不自然な行動がある
- 理由なく登校させない

こんなときは...
下記の相談窓口に連絡してください。
なお、連絡いただいた方の秘密は守られます

里親になりませんか

～子どもたちに家庭のぬくもりを～

里親とは、親の病気や家出などさまざまな事情のため、家庭で生活ができないお子さんを自分の家庭に迎え入れ、愛情をこめて養育して下さる方のこと。虐待などで心に傷を負った子どもたちのためにも、里親になりませんか。

- 里親 Q & A**
- Q 里親になるのに資格は必要ですか？
A 特別な資格は必要ありません。子どもが大好きで、健康的で明るい家庭であることが大切です。
- Q どうしたら里親になれるか？
A ① 下記の市町村児童福祉担当窓口へご相談ください。
② 児童相談所の職員が家庭訪問し、家族の状況やご夫婦の考え方、履歴などをうかがいます。
③ 社会福祉審議会でご審査され、それに基づき知事が里親として認定し、登録します。
※健康状態や経済状況などで認定を受けられない場合があります。
④ 児童相談所や里親会で実施する研修に参加し、里親や里子についての理解を深めていただきます。
⑤ 児童相談所が養育をお願いします。
- Q 子育てにかかる費用は？
A 生活費や医療費、教育費などが公費で支給されます。

相談窓口

各市区町村児童福祉担当課一覧	虐待を発見したときご連絡を！
宇都宮市 ☎028-632-2386	矢板市 ☎0287-43-1116
足利市 ☎0284-20-2137	黒磯市 ☎0287-64-3724
栃木市 ☎0282-21-2513	上三川町 ☎0285-56-9132
佐野市 ☎0283-20-3002	南河内町 ☎0285-48-2373
鹿沼市 ☎0289-63-2177	上河内町 ☎028-674-3131
日光市 ☎0288-54-1118	河内町 ☎028-673-6337
今市市 ☎0288-21-5101	西方町 ☎0282-92-0306
小山市 ☎0285-22-9627	栗野町 ☎0289-85-7505
真岡市 ☎0285-83-8131	足尾町 ☎0288-93-3111
大田原市 ☎0287-23-8769	二宮町 ☎0285-74-5018
	益子町 ☎0285-72-8866
	茂木町 ☎0285-63-5631
	市貝町 ☎0285-68-1113
	芳賀町 ☎028-677-1112
	壬生町 ☎0282-81-1831
	石橋町 ☎0285-52-3711
	国分寺町 ☎0285-40-5557
	野木町 ☎0280-57-4172
	大平町 ☎0282-43-9223
	藤岡町 ☎0282-62-0904
	岩舟町 ☎0282-55-7762
	都賀町 ☎0282-29-1104
	栗山村 ☎0288-97-1115
	藤原町 ☎0288-76-4105
	塩谷町 ☎0287-45-1119
	氏家町 ☎028-681-1116
	高根沢町 ☎028-675-8105
	喜連川町 ☎028-686-6614
	南那須町 ☎0287-88-7115
	烏山町 ☎0287-83-1118
	馬頭町 ☎0287-92-1119
	小川町 ☎0287-96-2115
	湯津上村 ☎0287-98-2111
	黒羽町 ☎0287-54-1119
	那須町 ☎0287-72-6959
	西那須野町 ☎0287-37-6231
	塩原町 ☎0287-32-2912
	田沼町 ☎0283-61-1125
	葛生町 ☎0283-86-4713

児童相談所

中央児童相談所(宇都宮市) ☎028-665-7830
 県南児童相談所(栃木市) ☎0282-24-6121
 県北児童相談所(西那須野町) ☎0287-36-1058

休日や夜間に虐待を発見した方は
 児童虐待緊急ダイヤル
 (☎028-665-3677)へ

※子どもや家庭のことで
 お悩みの方はテレホン児童相談
 (☎028-665-3677)へ

ふるさと散歩
古代の文化にふれよう
風土記の丘資料館編

なす風土記の丘資料館 小川館

小川町小川3789
☎0287-96-3366
入場料(湯津上館と共通)
大人100円、小中学生無料

●那珂川と篤川が合流するこの地域には、県内で最も古い駒形大塚古墳をはじめとする前方後方墳が数多くつくられました。小川館では縄文時代から



那須の歴史を学ぼう

●ミニギャラリー絵画展「大昔の暮らし」 10/3(日)まで
●体験講座 毎月第2・4土曜日 午前9時30分～正午 土笛・土鈴・勾玉づくり・アンギン編み・火おこしなどが体験できます。事前に電話で予約を



火おこし

なす風土記の丘資料館 湯津上館

湯津上村湯津上192
☎0287-98-3322
入場料(小川館と共通)
大人100円、小中学生無料

●国宝に指定されている「那須国造碑」の模型をはじめ、古代の那須国の様子を展示しています
●湯津上館の近くには上侍塚古墳、下侍塚古墳があり、子どもたちも古墳の勉強に訪れます



「笠石」と呼ばれる那須国造碑は湯津上館の近くにあり



古墳の学習会

企画展

●第12回企画展「水戸光圀公の考古学」 11/28(日)まで

- 日本で初めて本格的な遺跡調査を行った水戸光圀公の業績を紹介します
- 企画展関連イベント
- ・10/3(日)記念講演会(小川町ふるさと館) テーマ「水戸光圀による文化財の調査保護」
- ・10/17(日)「史跡見学会」 茨城県内の光圀関連史跡を見学
- ・10/24(日)「光圀ウォーク」 日本考古学発祥の地、秋のなす路をあるきます

●企画展の申込み・問合せは小川館(☎0287-96-3366)まで

しもつけ風土記の丘資料館

国分寺町国分993
☎0285-44-5049
入場料
大人100円、小中学生無料

●思川と姿川に沿った地域は、古代下野国の政治や文化の中心地でした。今なお残る古墳や寺院跡などからも当時の栄華が感じられます。ここでは、古墳時代から平安時代までの古墳文化や仏教文化についての資料を展示しています



下野国分寺/七重塔模型は資料館の目玉

●体験講座 毎月第2・4土曜日 午前9時30分～正午 古代人のアクセサリ「勾玉」づくりが体験できます。自分だけの勾玉をつくってみませんか(予約不要)



勾玉づくり

企画展

●律令国家の展開～9世紀前後における下野国～

- 10/15(金)～11/28(日)
- 企画展関連イベント 10/24(日)記念講演会 テーマ「9世紀前後の下野社会の諸問題」

一人ひとりにきめてまやかな相談を
県では、こうした難病患者とその家族の方々が抱え持つ深刻な悩みや不安などを解消し、安定した療養生活が行えるよう、今年五月「とちぎ難病相談支援センター」を

◇問合せ 県健康増進課 TEL 028-623-086
「どんなことでもひとりでは悩まず気軽に相談に来ていただきたいですね。患者さん自身も負担を軽くすること、私たちが役目です」と相談員は話します。また、月二回開催する医療相談会では、専門医が治療やリハビリテーションなどの相談にあたります。ぜひ、お気軽にご利用ください。



相談員のみなさん

利用案内

※秘密は厳守します

- 一般相談(電話・面接相談) 毎週月曜日～金曜日 午前10時～正午 午後1時～4時
- 医療相談(毎月2回開催) ①9/17(金) ②9/24(金) 午後1時～4時 対象疾患 腎泌尿器系疾患

- 場 所 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎリハビリテーションセンター内
- 予約・問合せ ☎028-623-6113 FAX028-623-7255 ※面接相談及び医療相談は、電話予約の上お越しください

「第1回なんびょうサポートとちぎのつどい」開催

10/24(日)午前10時～午後4時 県総合教育センター(宇都宮市)

- 各種相談(午前10時～午後1時) <医療・福祉・就労・栄養> ※秘密は厳守 医療相談の対象 筋・神経系疾患、消化器系疾患(要予約)
- 講演会(午後2時～4時) “当たり前の暮らしを支える活動をとらして” ～大田君からもらった元気を未来へつなぐ～ 西澤正豊さん(新潟大学脳研究所神経内科教授) 森内律子さん(「大田君、元氣会」元世話人)
- 申込み・問合せ ☎028-623-6113 FAX028-623-7255

心のよりどころとなる場所に

栃木県難病団体連絡協議会 会長 玉木 朝子さん



栃木県難病団体連絡協議会には、病気ごとに11の難病患者の団体が加盟しています。病気は違っても病気を持つ者同士連携を取り合い、難病患者の生活向上のためにさまざまな活動を続けています。難病患者たちは、相談する相手もいなかったり、一人で思い悩んでいたり、今の生活や将来への不安を抱えながら生活しています。私たちが求めていた「とちぎ難病相談支援センター」が設置されたことは、大変うれしく思っています。孤独になりがちな難病患者のニーズに応え、希望を見だし、社会復帰を目指すための活動拠点施設としてその機能を十分発揮していただくことを願っています。

ひとりりで悩まず気軽に難病相談を！ とちぎ難病相談支援センター

県政トピックス

Topics 1 第一回産業再生委員会を開催



知事は「県内経済の活性化と県民生活の安定に向け、委員の意見を反映させ、全力で取り組む」とあいさつ

足利銀行の一時国有化を受け、八月四日、県内産業や地域の活性化、地域金融の再生などについて調査・検討を行う「第一回産業再生委員会」を県総合文化センターで開催しました。委員会では足利銀行問題に関する県の対応状況、観光業や建設業の現状が報告され、活発な意見交換が行われました。

Topics 2 日光市で総合防災訓練



橋りょうから転落した車両からの救助・救急搬送訓練の様子

八月二十九日、日光市運動公園で県と日光市共催の総合防災訓練を実施しました。訓練は県北西部に直下型の地震が発生したことを想定し、消火訓練や倒壊家屋からの救助救出訓練などが行われました。また電気・水道・ガスなどのライフラインの復旧訓練や、緊急物資の輸送訓練なども本番さながらに行われました。

Topics 3 「塩那道路」の建設中止を発表



八月二十四日、県は塩原町と黒磯市を結ぶ塩那道路(県道中塩原板室那須線)の中間部(約三十六km)を建設中止すると発表しました。建設凍結期間が約三十年と長期に及ぶ中、社会・経済情勢も大きく変化してきていることなどから、県議会での議論や地元関係者など県民の皆さんからの意見などを踏まえ、中止を決定したものです。今後は、専門家などの意見を聞きながら、中間部の植生回復対策を行うとともに、黒磯市側の未整備区間(二・一km)の整備をすすめていきます。

詳しくは、県のホームページ(<http://www.pref.tochigi.jp/douken/>)または県民センターなどで閲覧できます



ツリフネソウ(ツリフネソウ科)

沢筋や林道沿いの堆積土に根付く多年草。ホウセンカのように実がはじけます。漢字で書けば「釣舟草」。同じ時期に同じ場所で黄色い似た花が見られますが、これはキツリフネという別種です。

ウォッチングポイント

山地のやや湿った場所にまとまって咲いています。河原や溪流でも見られ、10月上旬まで観察できます。



森の集い「しっとり秋の花」

- 県民の森で秋の花を観察しよう
● 10/1(金) 午前9時～
● 定員 先着20名
● 参加無料
● 県民の森管理事務所 ☎0287-43-0479

日光自然博物館の催し

- 秋のおもしろ自然遊び
● 秋の日光で、ムシたちや植物のタネを使って遊びましょう！
● 10/30(土)午前10時～午後2時30分
● 定員 20名
● 参加費 大人500円、こども250円
● 申込締切 10/16(土)

- 生まれたての水を飲んでみよう！
● 生まれたての水はどんな味だろう？
● 寂光の滝源流を訪れてみませんか



- 11/6(土) 定員 20名
● 参加費 大人500円、こども250円
● 申込締切 10/22(金)
● 日光自然博物館 ☎0288-55-0880

とちぎ花センターの催し

- 秋のフラワーフェスティバル
● 10/16(土)・17(日)
● 花センター周遊ツアー、ハーブ講習会、クラフト教室、ちびっこ鉢植え体験など楽しい企画が盛りだくさん！
● 温室入館料 大人420円、こども210円
● 同センター ☎0282-55-5775

とちぎ海浜自然の家「親子の集い」

- いもほり・塩づくり・干物づくり体験、水族館見学などを楽しもう
● 10/30(土)～31(日) 1泊2日
● 参加費 大人6,400円ほか
● 申込締切 9/29(水)



とちぎ海浜自然の家(茨城県旭村) ☎0291-37-4004

文化情報 子ども総合科学館

- 遊びのワークショップ「そっくり！和菓子屋」
● 9/20(月)①午前10時～正午 ②午後1時～4時 ● 対象 小学生以上 ● 和菓子の作り方をまねて、ねんどで和菓子をつくってみよう

- プラネタリウム特別番組「星空さんぽ」
● 9/25(土)午後3時～3時50分 ● 秋の星座の探し方とお月見の話を紹介
● 科学工作教室「グライダーを作って飛ばそう」
● 10/3(日)午後1時～3時
● 対象 小学4年生以上 ● 定員 30名 ● 要予約 ● バルサ材、スチレンペーパーを使って、重さ5グラムの軽量グライダーをつくろう

文化情報 県立美術館

- 第58回栃木県芸術祭美術展
● 洋画・彫刻・工芸 ● 9/25(土)～10/7(木) ● 県内公募の入選・入賞作品を招待作品とともに展示。洋画・彫刻・工芸部門を当館で、日本画・書道・写真部門を県総合文化センターで展示



「パリ夜街」清水登之 1926年

文化情報 県立博物館

- 企画展「大関増裕一動乱の幕末とその死」
● 10/3(日)～11/23(火) ● 幕末の黒羽藩主大関増裕が行った軍制改革などに関する資料を展示します ● オープニング講座「大関増裕の人と業績」・10/3(日)午後1時30分～(要予約)
● キノコの調べ方(初級)
● 9/18(土)午前10時～ ● 要予約



● 石ウスと火おこしに挑戦
● 9/26(日)午前11時～ ● 対象 小中学生

文化情報 県総合文化センター

- スロヴァキア国立歌劇場オペラ「椿姫」
● 11/10(水)午後6時30分開演 ● 世界的オペラ歌手を多数輩出し、「歌手の故郷」とも呼ばれる名門歌劇場7年ぶりの来日 ● 好評発売中



● 読売日本交響楽団特別演奏会
● 1/11(火)午後7時開演 ● ピアノ/須藤梨菜 ● 9/24(金)発売開始
● レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」
● 1/22(土)午後5時開演 ● 9/10(金)発売開始

栃木県 からの お知らせ

身障者用駐車場 身障者用トイレ

催し

- 県立文書館第19回企画展「4代目県庁舎建設の記録」
● 9月27日(月)～10月15日(金)午前9時～午後5時 ● 県庁東庁舎1号館県立文書館展示室
● 現在解体工事が行われている4代目県庁舎の誕生から解体までを伝えます ● 入場無料
● 同館 ☎028-623-3450



2004とちぎ動物愛護フェスティバル

- 9月23日(木)午前10時～午後3時 ● 県動物愛護指導センター(宇都宮市) ● 内容 わんわんパレード、動物なんでも相談、しつけ方教室、わくわく馬車、子犬やポニーとのふれあいコーナー、動物愛護特別講演ほか ● 入場無料
● 同センター ☎028-684-5458

まるごと体験 四季の森まつり

- 10月3日(日)午前9時15分～午後3時 ● 南那須少年自然の家 ● いろんな森の秋の楽しみ方を用意しました。お好みで選んでください
①スポーツの秋(四季の森宝さがし)②食欲の秋(ピザ・栗まんじゅうづくり)③芸術の秋(七宝焼や問伐材を使った工作) ● 定員 先着150名 ● 参加費 保険料100円と材料費 ● 申込みはFAXなどで9月26日(日)までに
● 同自然の家 ☎0287-88-9341 FAX ☎0287-88-0229

県立図書館の催し

- インターネットを活用した図書館講座～レファレンス編～
● 10月8日(金)午後1時30分～4時 ● インターネットを使って図書館資料の探し方を学びましょう ● 対象 パソコン初級者 ● 受講無料 ● 定員 先着15名 ● 申込みは電話などで 同館 ☎028-622-5113

7 information とちぎテレビ 県の広報番組

- クーersatzアップとちぎ
● 毎週日曜 9:00～9:30
● (再)月曜 22:00～22:30
● 9月19日 道路行政マネジメント
● 26日 とちぎ子ども医療センター
● 10月3日 環境にやさしい農業
● 10日 子育て環境づくり

講座

- 建設業者講習会
①10月6日・那須野が原ハーモニーホール (大田原市)
②10月8日・おおひら町民ホール
③10月13日・県総合文化センター(宇都宮市)
※いずれも午後2時～4時 ● 内容 労働災害防止・平成17・18年度栃木県入札参加資格審査申請についてなど ● 受講無料 ● 当日直接会場へ ● 県監理課 ☎028-623-2390

わくわくキンボール教室

- 10月9日(土)午後1時～4時 ● 馬頭町総合体育館 ● 大きなボールを使って4人のチームで戦う「キンボール」。この新しいスポーツのルールを覚えて楽しもう ● 対象 小中学生とその保護者
● 受講料 50円
● 定員 先着40名
● 県烏山青年の家 ☎0287-82-3142

パーティの講座

- とちぎ男女共同参画センター ☎028-665-7706
● メノポーズピクス(更年期体操)講座(全2回)
● 10月5日・19日 ※いずれも火曜・午後7時～8時30分 ● 更年期を快適に過ごすための体操を学びましょう ● 対象 女性 ● 受講料 1,000円 ● 託児あり(要予約) ● 定員 20名 ● 申込締切 9月24日(金)
● アフター5サロン(全5回)
● 10月13日・27日、11月10日・17日・24日 ※いずれも水曜・午後7時～8時30分 ● 健康的な食事や運動などを学びましょう ● 対象 18歳以上の女性 ● 受講料 2,000円(材料費別途) ● 託児あり(要予約) ● 定員 25名 ● 申込締切 9月30日(木)

高齢者の就業のための講習会

- 県シルバー人材センター連合会 ☎028-627-1179
● 対象 60歳代前半の求職者 ● 受講無料 ※テキスト代は受講者負担 ● 定員 各20名
● パソコン(基本指導者)養成講習
● 10月4日(月)～8日(金) ● 黒磯市 ● 申込締切 9月24日(金)
● パソコン基本指導者養成職場体験講習
● 10月12日(火)～19日(火) ● 宇都宮市 ● 申込締切 10月1日(金)
● ビルメンテナンス講習
● 10月18日(月)～22日(金) ● 鹿沼市 ● 申込締切 10月7日(木)
● パソコン(文書作成)実務講習
● 10月25日(月)～29日(金) ● 烏山町 ● 申込締切 10月15日(金)

案内

「口座振替通知書」の送付がなくなります

● 県から口座振替による支払いを行う場合、「口座振替通知書」を送付していましたが、この通知書の送付を10月1日支払い分から廃止いたします ● 預金通帳にはこれまでどおり「振込日・支払所属・金額」が印刷されますのでご確認ください
● 県出納局会計課 ☎028-623-3014

小規模企業者・創業者の皆さんへ 設備投資資金等支援制度をご利用ください

● 小規模企業者等の経営基盤の強化や創業に必要な設備の導入を行いたいときに利用できます ● 貸付限度額 50～4,000万円(ただし設備価格の1/2以内) ● 金利 無利子 ● 貸付期間 原則7年 ● 申込みは県内金融機関(一部金融機関除く)、各商工会議所、各商工会などへ ● 担保・保証人など詳細は問合せを ※この貸付制度のほかにも設備割賦・設備リース制度もありますので、ご相談ください
● 栃木県産業振興センター ☎028-670-2604

9月15日～21日は老人週間 県立文化施設を無料開放します

● 対象 県内在住の65歳以上の方 ● 対象施設 県立美術館・県立博物館・風土記の丘資料館・とちぎ花センター・なかがわ水遊園・とちぎ明治の森記念館・井頭公園花ちょう遊館・日光田母沢御用邸記念公園御用邸本邸・日光自然博物館 ● 施設の窓口で身分証明書を提示してください ● 県高齢対策課 ☎028-623-3054

秋の農作業を安全に！

● 9月1日～10月31日は「秋の農作業安全運動推進期間」です ● 秋の農繁期を迎え、農作業の事故防止に十分心がけましょう
● 県経営技術課 ☎028-623-2286

マナーアップ！あなたが主役です

● 秋の交通安全県民総ぐるみ運動を実施します ● 期間 9月21日(火)～30日(木) ● 高齢者の交通事故が増加しています。家庭や地域で注意を呼びかけ高齢者を交通事故から守りましょう ● ヘッドライトは早めにつけましょう ● シートベルト・チャイルドシートを着用しましょう ● 飲酒運転は絶対にやめましょう
● 県交通対策課 ☎028-623-2183

県政ひとくちメモ

- 毎週木曜 「イブニング6」内 18:13頃～
● 9月16日 秋の交通安全
● 23日 県産農産物給食
● 30日 おはなだーいすき
● 10月7日 日光杉並木の保護
● 14日 ふるさと栃木フェア
● とちぎ教育新事情
● 毎週土曜 17:30～17:50
● (再)月曜 12:05～12:25
● 9月18日 さあ、はじめよう、学校支援ボランティア
● 25日 ・スーパーサイエンスハイスクール
● 10月2日 高校生のインターンシップ
● 9日 とちぎの民俗芸能～上河内町・関白獅子舞～